

2024年度

事業計画(案)
収支予算書(案)

一般社団法人 小平市国際交流協会

2024年度事業計画

○基本方針

一般社団法人 小平市国際交流協会は、定款に示すように、「市民主体の国際交流並びに在住外国人への支援を推進することにより、国際相互理解と地域の多文化共生を図り、日本人・外国人が互いに連携し、生活上の様々な課題の解決を進められる住みよい地域に寄与する」ことを目的とし、その実現に向けた事業を展開しています。

多文化共生については、外国人住民を一時的な滞在者ではなく地域の生活者にとらえ、その多様なニーズに応えることを念頭に、国籍や民族などの異なる人々が、互いの文化的差異を認め合い、対等な関係を築き、地域社会の構成員として共に生きていける多文化共生の地域づくりを目指してまいります。

国際交流、国際理解事業についても、この多文化共生の理念に基づき、単なる友好親善にとどまらない関係を築くことに努め、ボランティア会員による自発的かつ主体的な活動をもとに、日本人・外国人が互いに協力して取り組める事業としてまいります。

○法人化後の KIFA の現況

2024年度（令和6年度）は、KIFA が2022年（令和4年）4月に法人設立して3年目の年にあたります。協会内で検討した法人化の設立の方針に従い、着実に歩みを進めております。

2014年（平成26年）の「小平市国際交流協会のあり方検討」では、国の国際化施策の取り組みが「交流」から「多文化共生」に移行したことを受け、地域で暮らす外国籍住民が自立できるような「支援」事業を核とした「多文化共生」を進めるべきとの方針が決まりました。

また、法人化する前年の2021年度（令和3年度）には、「多文化共生に関する提言」として、KIFA として、多文化共生としての取組を次のとおりとしました。

- ① 外国籍住民への言語支援（日本語及び母語）
- ② 外国籍住民への生活支援（生活相談及び情報提供）
- ③ 外国籍住民への防災支援
- ④ 外国籍住民（とくに海外ルーツの子ども）への学習支援
- ⑤ 外国籍住民への交流支援

2022年（令和4年4月）に一般社団法人として新たな法人として設立された KIFA は、社員の総意により意思決定する社団法人となって、ボランティアには自主的に取り組む機運が高まり始めています。

○外国人をめぐる国、小平市の動向

（1）国の動向

外国人技能実習生制度は、人権問題や国内景気の低迷に伴う円高で、外国人労働者を送出す国の賃金が高くなり、近隣国との労働者獲得競争から、日本での就労を希望しない外国人が増加しているとの報道があります。これを受け、外国人技能実習生に代わる新制度について政府の会議は昨年末、「育成就労」の創設を提言する報告がなされました。

また、日本語教育の専門的な知識及び技能を有する指導者の不足等が課題となっていることから、認定を受けた日本語教育機関で日本語教育を行う教員（登録日本語教員）の資格制度等を定める「日本語教育の適正かつ確実な実施を図るための日本語教育機関の認定等に関する法律」が2024年（令和6年）4月に施行されます。この法律で、登録日本語教員になるためには、認定日本語教育機関において日本語教育を行うために必要な知識及び技能についての日本語教員試験に合格し、文部科学大臣の登録を受けた登録実践研修機関が実施する実践研修を修了する必要があります。

（2）小平市・議会の動向

2023年度（令和5年度）から2032年度（令和14年度）を計画期間とする「小

平市文化スポーツ推進計画」が策定され、施策として「多様性への理解と多文化共生社会づくり」が掲げられました。

小平市議会には、「小平市に多文化共生まちづくりの取組を求めることについて」の請願が、市内で活動している団体から提出され令和 5 年 12 月の定例会で採択されました。

請願の内容としては、総務省通知に基づく包括的な多文化共生推進プラン、指針を策定の要望と、多文化共生推進プラン・指針の進捗状況を把握し、参加・協働を推進するための協議会の設置を求めるものです。

○方針

1 KIFA を目立たせます

現在、5千人を超える外国人人口から推測すると KIFA の日本語会話教室に申し込む人数は圧倒的に少数で、市民や外国人住民に当協会が周知されていないのが現状です。市民まつりや日本語会話教室でのチラシ配りなどを通して当協会が実施している内容を含め市民や外国人住民に周知していく必要があります。

2 KIFA 内の意思疎通の向上

一般社団法人である KIFA は、会員全体の意思は、社員総会で決定していくため、各ボランティアグループの幹事に適切な情報提供を行い協会内の意思疎通を図ります。

3 ボランティアの力を最大限に生かす

ボランティアグループの主体的な運営によりボランティアと外国人が顔の見える関係を構築し、更にボランティア活動がしやすい場に KIFA を変えていきます。

○主要施策

(1) 日本語会話教室

新型コロナウイルス感染症「5類」以降後、日本語会話教室には、以前の外国人学習者数の水準に戻ってきました（日本語会話教室金・夜間を除く）。

「つなひろ こだいらクラス」を含む全4クラスで教室終了後、茶話会が開始しており、一言スピーチやクイズ会など会話教室内での交流が活性化してきました。

(2) KIFAの周知について

KIFAの事業に、より多くの市民が参加するように働きかけるとともに、様々な機会を捉え市民や外国人住民への当協会の周知をミニレター（機関紙）やホームページを通して行います。2023年度（令和5年度）は、市民まつりに出店や、多文化カフェのチラシは、ボランティアが歩いて配付しました。また、日本語会話教室では、学習者に指導者から直接各イベントのチラシを手渡したことにより、参加する外国人が増加しました。

2024年度（令和6年度）も外国人に寄り添ったボランティア目線で周知する方法が積極的に提案され、各グループでの成功事例が協会内で共有できるようにしてまいります。

○各事業計画

I 多文化共生に関する事業

事業名・担当	事業内容
<p>(1)日本語会話教室</p> <p>①日本語会話教室(おとな) 担当(日本語会話教室グループ)</p> <p>②日本語会話教室(保育) 担当(保育グループ)</p> <p>③つなひろ こだいらクラス(初心者～中級 話すクラス) 担当(日本語会話教室グループ)</p> <p>④JLPT 直前対策講座 (春・秋開催) 担当(日本語会話教室グループ)</p>	<p>外国人が地域で暮らすために必要な日本語を学ぶ、レベル別のグループレッスンです。指導者は日本語教師の資格をもった KIFA ボランティアです。</p> <p>① 受講料 5回 1,500円または1回 350円(チケット制) ② 開講日 月曜日(午前)・金曜日(夜間)・土曜日(午前)</p> <p>月曜日と土曜日は、授業の間はボランティアが登録したこども(6ヶ月～8才)を預かります(保育)。</p> <p>文化庁の「生活者としての外国人」のための日本語学習サイト「つながるひろがるにほんごでの暮らし」を使った教室です。 木曜日 午前 10:30～12:00 2023年度(令和5年度)は金曜日</p> <p>日本語学習者の日本語能力試験(JLPT)受験を支援するため、N2～N4の直前対策講座を開講します。春と秋 土曜日各5～6回シリーズで開講します。</p>
<p>(2)こども日本語・学習支援 担当(こども日本語・学習支援グループ)</p> <p>②<外国出身親子向け>小学校入学準備教室 担当(こども日本語・学習支援グループ)</p>	<p>外国につながるこどもたちに KIFA のボランティアが日本語と学校の勉強のサポートをします。 ひとりひとりのニーズによって 個別に対応します。 毎週水曜日 午後 4:10～5:40 1学期 1,000円 保護者会の実施</p> <p>小学校に入学する親子のための教室を開講します。外国出身の親子のための教室です。ひらがなの練習やあいさつなどを勉強します。 ① 開催予定日 2月毎週土曜日 午後 ② 無料</p>
<p>(3)小平市日本語発表会 担当(小平市・事務局) 協力 市内の日本語支援ボランティア団体及び小平市国際交流協会日本語教室</p>	<p>市内のボランティア活動による日本語教室の学習成果を発表する場を設定し、次のことを目的にします。 日本語学習者は日頃の学習の成果を発表することで、学習意欲の向上を図り、指導者は、日頃の指導の成果を確認することで、指導の改善に役立て、聴講者は、スピーチを聴講することで、多文化共生を理解します。 ① 開催日 12月15日(日) ② 会場 中央公民館</p>

<p>(4) 翻訳・通訳事業 担当(翻訳・通訳チーム)</p>	<p>市役所や小中学校等の諸手続きなどに関し、ボランティアによる通訳・翻訳サービスを実施します。 定期的な活動として、</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 年に数回の定例会を開催し、ボランティア同士の情報支援や勉強の場をつくります。 ② 他事業グループが主催する事業の広報チラシなどの翻訳協力・通訳協力します。 ③ 行政機関からの依頼により通訳を派遣します ④ 行政機関からの文書翻訳依頼への対応します ⑤ 「やさしい日本語」担当をサブグループに位置付け、勉強会と文書のリライト発行を推進します。
<p>(5) 生活情報提供 担当(生活情報提供チーム)</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 保護者向けの入学準備相談会 ② 多文化カフェ 	<ol style="list-style-type: none"> ① 外国人の抱える課題を探り、必要としている生活情報の提供を行い日常生活の利便性を図るため、テーマ別の説明会あるいは個別相談形式による事業を実施します。(3月予定) ② ニーズの収集および在住外国人の居場所として、ボランティアと在住外国人の懇談の場を提供します。(6回開催予定)
<p>(6) 災害時外国人支援センター運営 担当(災害時対応チーム)</p>	<p>災害時外国人支援センターのボランティア募集、運営訓練及び外国人への啓発を目的とした活動を行います。</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 小平市災害時外国人支援センター運営の検討 ② 外国人が参加しやすい防災訓練の検討 ③ 災害時翻訳シミュレーション(ロールプレイ)訓練の参加

II 国際交流に関する事業

<p>(1) ホームビジット 担当(事務局) ホスト KIFA の会員</p>	<p>外国人に日本の家庭を訪問する機会を提供し、市民レベルの国際交流を推進します。参加希望の外国人(ゲスト)毎に、普通会员よりホストを募集して、訪問家庭を決定します。受け入れ家庭がゲストの希望をヒアリングして、半日程度の家庭訪問を実施します。</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 時期 通年 ② 場所 各家庭
<p>(2) スポーツ交流の促進 担当(事務局・交流イベントグループ)</p>	<p>市内で実施されているスポーツイベントに外国人参加を図り、スポーツを通じた交流を促進します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民駅伝大会 (2月) ミニレターでチームメンバーの募集を行い、参加します。
<p>(3) 交流イベント 担当(交流イベントグループ)</p>	<p>時宜に応じた交流機会を設定し、相互理解を深めます。</p> <p>(過去の事例) 高尾山ハイキング、灯りまつり、グリーンロードウォーク、花見、忘年会)</p>

Ⅲ 国際理解に関する事業

<p>(1)国際こどもクラブ 担当(国際理解講座グループ)</p>	<p>留学生等の講師による多文化理解講座と、外国人英語講師による英会話レッスンです 期 間 6月～7月(土曜日の午後実施) 回 数 5回 対 象 小学校2～4年生 参加費 5,000円 定 数 1クラス15人</p>
<p>(2)英会話教室 担当(事務局)</p>	<p>ネイティブの講師により、英会話力の向上を図ります。語学力に磨きをかけることによって、協会プログラムやボランティア活動への参加を図ります。 初級、初中級、中級、中上級のレベル別クラスを設置します。</p>
<p>(3)外国語会話教室 担当(事務局) ①フランス語(初級) ②タガログ語(初級) ③韓国語(初級)</p>	<p>国際理解や国際親善を始めるための一歩としての外国語会話教室を行います。 2022年度 たのしいスペイン語(初級)・(初中級) 2023年度 フランス語(初級)・スペイン語(初中級) 2024年度 フランス語(初中級) タガログ語(初級)・韓国語(初級)</p>
<p>(4)多文化理解講座 in English 担当(国際理解講座グループ)</p>	<p>各国からの留学生等に自分の国を英語で紹介してもらいます。ネイティブだけでなく、いろいろな国の英語に親しむことができます。</p>
<p>(5)世界の料理紹介 担当(世界の料理紹介グループ)</p>	<p>いろいろな国の料理を皆で一緒に作って食べます。日本語会話教室の学習者など外国の人に講師を依頼します。</p>

Ⅳ 情報収集、調査研究及び広報

<p>(1)機関紙発行 担当(機関紙グループ)</p>	<p>協会で行った事業を取材したり、外国人インタビューや特集記事を企画して、記事を執筆、校正、レイアウトの編集をして、機関紙を発行します。 A4判、カラー刷り(4月、9月、1月)、印刷は外注 回 数 年3回 部 数 1,800部</p>
<p>(2)情報紙(ミニレター)の発行 担当(事務局)</p>	<p>協会で行う行事などを中心に編集し、情報紙を自前で作成・発行する。A4版で会員に郵送します。 回 数 年10回(8月、2月は休刊) 部 数 1,800部</p>
<p>(3)電子情報の発信 担当(事務局)</p>	<p>ホームページによる情報発信</p>

※注【説明】ボランティアグループについて

普通会員としてボランティア活動をする人は、必ず1つ以上のボランティアグループに所属をします。ボランティアグループは、全部で12あります。KIFAのボランティア活動は、市民が主役の自主的かつ能動的な活動です。

		ボランティアグループ	活動内容	活動日	条件等
多文化共生に関する事業	1	日本語会話教室 指導 月曜日	日本語会話教室でのレベル別グループ指導	月曜日 10:00~11:30	要資格※ ・日本語教師養成講座420時間修了 ・日本語教育能力検定試験合格 ・大学で日本語教授法修了 ・要見学
	2	日本語会話教室 指導 金曜日		金曜日 19:00~20:30	
	3	日本語会話教室 指導 土曜日		土曜日 10:00~11:30	
	4	日本語会話教室 保育	日本語会話教室の受講生のこどもを、別室で預かる	月曜日・土曜日 10:00~11:30	要見学
	5	こども日本語・学習支援教室	外国ルーツの子どもたちへの日本語指導と学習支援	水曜日 15:30~18:00	要見学
	6	翻訳通訳チーム	公的文書の翻訳や公的機関への通訳派遣など	随時 会議は土曜日	
	7	生活情報提供チーム	外国人に役立つ情報の発信。複雑な日本の制度に関する説明会の実施など	イベントは土日 会議は土曜日	
	8	災害時対応チーム	大規模災害時の外国人支援の枠組み作り	イベントは土日 会議は土曜日	
国際交流に関する事業	9	交流イベント	交流イベントの企画・実施	イベントは土日 会議は土曜日	
国際理解に関する事業	10	国際理解講座	国際理解講座の企画・実施 ・国際こどもクラブ ・多文化理解講座 in English	講座は5~7月と10月の土曜日 会議は随時	
	11	世界の料理	世界の料理講座の企画・実施	会議は、随時	
事業情報発信	12	機関紙発行	機関紙「国際こ दौर」の企画・取材・執筆・校正	取材は随時 会議は水曜日 10:00~12:00	要見学

★各ボランティアグループには、幹事（1名）と副幹事（1名）がいます。任期は一年です。

★幹事と副幹事は、年4回（予定）の「KIFA連絡会」に出席し、グループ同士の情報交換を行います。

★幹事は一般社団法人の「社員」となり、年1回の社員総会に出席します。社員総会は、KIFAの決議機関です。